

| 受験方式

TEAP利用型		教科	満点	英	国	日	世	政	数IA	数IIB	他	備考
文	哲	2	350	150	100	(100)	(100)	-	(100)	-	-	
	哲以外の学科	2	350	150	100	(100)	(100)	-	-	-	-	

学部学科試験・共通テスト併用型	教科	満点	共通テスト							独自試験			独自試験で求められる科目	
			英	国	日	世	政	数IA	数IIB	独	他	試験内容		
文	哲	3	240	60	40	(40)	(40)	(40)	(40)	-	100	-	総合問題 ^(※)	(※)現代文・小論文
	史	3	240	60	40	(40)	(40)	-	-	-	100	-	歴史 ^(※)	(※)現代文・日本史/世界史
	国文	3	240	60	40	(40)	(40)	(40)	-	-	100	-	国語 ^(※)	(※)現代文・古文
	英文	3	250	50	50	(50)	(50)	(50)	-	-	100	-	英語 ^(※)	(※)英語
	独文、仏文	3	240	60	40	(40)	(40)	(40)	-	-	100	-	総合問題 ^(※)	(※)現代文・世界史
	新聞	3	240	60	40	(40)	(40)	(40)	-	-	100	-	総合問題 ^(※)	(※)現代文・小論文

| 志願者推移 (数値は集計日時点による)

※志願者割合は各年度の志願者÷定員の値を比較(△:増加% ▼:減少%)

TEAP利用型		20'定員	20'志願者	21'定員	21'志願者	志願者割合	備考
文	哲	10	239	14	123	▼63%	
	史	10	223	20	148	▼67%	
	国文	10	155	10	97	▼37%	
	英文	10	140	27	242	▼36%	
	独文(ドイツ文)	10	186	13	98	▼59%	
	仏文(フランス文)	10	168	16	102	▼62%	
	新聞	20	192	20	213	△11%	
学部学科試験・共通テスト併用型		20'定員	20'志願者	21'定員	21'志願者	志願者割合	備考
文	哲	30	291	19	234	△27%	
	史	40	441	27	440	△48%	
	国文	35	530	32	523	△8%	
	英文	57	602	37	476	△22%	
	独文(ドイツ文)	24	261	18	141	▼28%	
	仏文(フランス文)	29	290	20	151	▼25%	
	新聞	78	407	50	413	△58%	

※学部学科試験・共通テスト併用型の20年度定員・志願者は、旧学科別の数値を代入。

| 入試問題分析

| 哲学科－総合問題（共テ併用型－独自試験）

入試問題分析	[哲学への関心および読解力・思考力・表現力を問う試験]
	<p>大問三題(マーク+自由記述+意見論述)</p> <p>①：世界史(哲学史)に関する選択問題 …哲学史についての知識を試す問題（5問）</p> <p>②：課題文型要約or論述問題(80~300字) …社会を構築する規範を論じた文章を読み内容について答える問題（記述式解答4問）</p> <p>③：テーマ型意見論述(600字以内) …5つの哲学的問いの中から1つを選択して自身の考えを述べる問題</p> <p>長文記述力・論述力が必須。また③では論述内に「哲学的思考」を含むことが求められるため、倫理科目の知識も一定量身に付ける必要がある。</p>

| 史学科－歴史（共テ併用型－独自試験）

入試問題分析	[歴史学をめぐる試験]
	<p>全10問(記述+マーク)</p> <p>①：空欄補充問題/②：傍線読解問題/③：自由記述問題(200~300字)/④：歴史に関する論述問題(50~150字)。</p> <p>複数の文章(三つ)を横断した読解が求められ、また歴史用語の記述説明が求められたりと、昨今の流行をかなり取り入れた出題形式になっている。選択式問題は標準的な難易度だが、200字~300字の記述式問題は複数テキストの関連を分析して説明することが必要で、難問と言える。歴史に関する論述問題は、日本史or世界史を選択できるのでいずれかの知識があれば対応可能。</p> <p>GMARCHレベルの現代文読解力に加え、長文記述力が必要。また歴史科目も記述説明ができるよう対策が必要。</p>

| 国文学科－現代文（共テ併用型－独自試験）

入試問題分析	<p>全9問(記述+マーク)</p> <p>①：漢字問題(記述)/②：傍線読解問題/③：自由記述問題(40~50字)。</p>
	<p>昨年度までと大きな変化はなし。上智~早稲田レベルの文章読解力と、私大頻出である40~50字程度の記述力。上智文学部の中では出題形式の変化はさほどなく、過去問演習も対策として有効。</p>

| 国文学科－古文（共テ併用型－独自試験）

入試問題分析	<p>古文・漢文ともに客観式問題は標準レベルが多い。文法・語彙だけでなく、文学史や背景知識、修辞技巧など幅広い知識が必要で、普段の努力がものを言う。また、どちらも記述問題は2~3問出されており、特に古文はすべて和歌の解釈に関する設問であった。和歌の解釈に加えて、自分の言葉で書く練習をしておかないと、満足いく解答にはならないであろう。以前よりも応用力を求める出題意図を感じる。その他、漢文では傾向変化が見られた。例年は一つの文章を読ませる形であったが、今年は複数の文章を読ませる形となった。共通テストなどを意識した変化だと思われる。</p> <p>※古文出典：『十六夜日記』、漢文出典：『論語』、『論語集註』</p>

| 英文学科－英語（共テ併用型－独自試験）

入試問題分析	[英語適性検査（英語長文読解とその内容に基づく英語小論文により、理解力・思考力・表現力を問う）]
	<p>分量が多めの長文問題が1題と、自由英作文（200語程度）が1問。長文問題は例年と変わらないレベルで、内容真偽に関する設問が中心。自由英作文は私立文系では稀にみる語数。試験時間（75分）に対して長文の語数は多めであるため、速く正確に読みこなしていく力が問われる。また、自由英作文対策については、まずは標準的な長さの一般私大（100~150語程度）で練習し、その後で200語近い形式の国公立大（秋田大、静岡芸術文化大、愛知教育大など）で練習すると良い。</p>

| ドイツ文学科－総合問題（共テ併用型－独自試験）

入試問題分析	[ドイツ語圏の文化・歴史に関するテキストの読解力および思考力・表現力を問う試験]
	<p>大問二題(全10問、全12問)</p> <p>①：漢字問題(記述)/②：語彙問題/③：傍線読解問題/④：空欄補充問題/⑤：世界史(ドイツ史)問題(記述+マーク)/⑥：自由記述問題(70~80字)。</p> <p>⑤が新傾向で、全体配点の2割弱程度を占める。GMARCHレベルの現代文読解力に加え、長文記述力(地方国公立レベル?)が必要。世界史は全9問中2問で、基礎レベルの習得で充分対応できる問題だった。合否への影響は大きくなかったが、次年度以降、傾向が変わる可能性は十分にあるだろう。</p>

| 入試問題分析

| フランス文学科－総合問題（共テ併用型－独自試験）

[フランス文学・文化・歴史に関するテキストの読解力および思考力・表現力を問う試験]

入試問題分析

大問二題(全4問、全5問)

①：語彙問題／②：傍線読解問題／③：空欄補充問題／④：世界史(フランス史)問題(記述+マーク)／⑤：自由記述問題(80～180字)。

④が新傾向だが、全体配点の1割弱程度。GMARCHレベルの現代文読解力に加え、長文記述力(地方国公立レベル?)が必要。世界史は全22問中9問で、基礎レベルの習得で充分対応できる問題だった。次年度以降はわからないが、2021年度で言えば世界史選択者以外の受験生は不利な学科である。

| 新聞学科－総合問題（共テ併用型－独自試験）

[ジャーナリズムに関する基礎的学力試験]

入試問題分析

大問二題

①：時事用語解説問題／②：1000字記述問題。

①は短文記述式から選択式に変更。②は「エッセイ型の作文」から「テーマ型の小論文」に若干の形式変更。時事問題の知識量と、「メディア・報道・コミュニケーション」をテーマとした長文論述力が必要。時事問題に関する資料や参考書に日々触れておくことが必要。論述自体は特殊な要求などはないため、無理のない構成で意見を明示できれば問題なく解答できる。

※TEAP利用型は全学部共通試験のため、別ページに入試問題分析を掲載。